

ホーム名：ヒューマンライフケア城東の湯グループホーム					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設当初よりその人らしく暮らせる事を大切にされた独自の理念をかかげている。	「安心と満足の提供・信頼の確立・生き生きとした生活・地域社会と共に」を理念に掲げている。昨年の開設時にスタッフ6名で考えたものである。会議時に内容を確認しあい、理念の共有を図っている。	理念は玄関の受付台に額に入れられ、来訪者の目に付きやすい場所に掲示されている。理念に沿って職員が一丸となり、実践につなげていってほしい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の行事に参加させて頂いている。〔餅つき、十日えびすなど〕買物を歩いて行ける範囲で行っている。	事業所開設から1年で、まだ地域との関係は密接ではない。町内会に加入し、12月には「もちつき大会」に参加した。買い物や散歩時には挨拶を交わしている。	町内会自体が新しく、活動もこれからという事である。町内会の一員として活動に参加し、協力関係を築いていかれたい。ボランティアの呼びかけや、地域の方がホームに足を運ぶ催しを企画し、地域に開かれたホームを目指したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	十分に活かしかれていない。地域貢献には至らず。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見、要望を参考に業務の改善や、向上につながるよう取り組んでいる。	地域包括支援センター職員・自治会長・22年度家族代表2名の参加を得、開催された。議題は、現状報告・連絡事項・今後の予定・家族からの要望・包括職員からの提案・助言などであった。	家族からの要望・提案や包括からの助言など、活発な意見交換がなされている。今後は、輪番制でない家族や市(区)職員・民生委員・婦人会・老人会などにも呼びかけ、より多くの参加を得られたい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加してもらっている。	市(区)との連携は今のところ無い。包括の職員には運営推進会議に出席して頂き、助言等いただいている。	運営推進会議録を市(区)の職員にも渡し、今後の会議に出席をお願いしたい。ホームに足を運んでいただき、実情を目にさせていただく事も働かせたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	職員間で身体拘束しないで安全と安心ができる体制ができるよう話し合っている。現在対象者無し。玄関の開錠に関しては家族様からの反対もあり施錠している。外出に関しては職員同伴で行っている。	勉強会を通し、職員には理解及び認識はされているようである。各ユニット入り口は施錠されておらず、自由に行き来できている。	施錠がなぜいけないのか、正しく認識されているかが重要である。日頃のケアを振り返り、具体的行為について職員間で話し合われたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	どのような行為が虐待に当たるかを日頃からケアの場面やカンファレンスで職員に周知している。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在成年後見人制度については家族様対応にて行われている。今後は研修や勉強会で学ぶ機会を持つようにする。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に十分時間をとり利用者や家族の不安を取り除くように努めている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を開催し、家族の要望や助言を聞いている。家族様と積極的にコミュニケーションを取る事を心がけている。</p>	<p>玄関入り口付近に「意見箱」が用紙・筆記用具と共に備えられているが、今のところ投書は無い。ホームに来られた時に、口頭にて寄せられている。また、運営推進会議時や家族会開催時に意見や要望が出されている。</p>	<p>今後も利用者や家族との意思疎通を図り、意見や要望の出し易い雰囲気作りをお願いしたい。家族会では、家族だけによる話し合いの場を設定し、家族の本音を言い合える時間も設けられたい。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>定期的に個人面談を行い職員の意見を聞いている。また、フロア会議で意見や提案を確認し改善するよう取り組んでいる。</p>	<p>管理者は普段から職員の様子を気に掛け、話を聞く努力をしている。話し合いから、2ユニットではあるが入居者全員を全職員で見守って行こうと取り組むようになった。</p>	<p>職員と意思疎通を図る事は、とても大切なことである。今後も職員の言葉に耳を傾け、意見や提案の出し易い雰囲気作りに努力し、ホームの運営に反映されたい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業規則を職員が常に目にする場所に置いている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内の研修や会社内の研修をweb会議にて行っている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>今は特に交流をしていないが今後はリーダー会を通じて活動を広げて行きたい。</p>		

Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者と接し利用者から要望等がきかれない場合は家族様から話を聞く様にして、利用者の気持ちを受け止めていくように努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者と家族様の思いの違いやこれまでの関係を理解し、受け止められるよう利用者だけではなく家族とも信頼関係を築けるように努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>要求事項に応えられる能力をホームが有しているのかの確認を行い、他サービス利用も含めて検討し対応に努める。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家事全般などできることは職員と共に生活を送って頂けるようにしている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>疑問や要望があれば気兼ねなくおっしゃって頂ける関係作りにも努め、家族様にもできる範囲での協力をお願いしている。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居された事で今までの関係が途切れる事のないようできる限りの支援を行っている。</p>	<p>近所の知り合いが尋ねて来られる。必要とあれば職員も中に入って話もする。利用していたスーパーやパン屋さんと一緒に買い物に出掛けたりもする。馴染みの美容院へ家族と共に向う入居者もおられる。</p>	<p>知人の訪問によって、入居者がしんどくなる(知人が思い出せないなど)のであれば無理に継続させるのはどうか…など、管理者はきめ細やかな対応をされている。入居者をよく見極めて、家族や医師などに助言を求めながら支援の継続をお願いする。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>お互いに仲良く暮らせる様に、その場の雰囲気に応じてなじみの関係になれるように支援している。利用者同士の関りを重要視し、職員は見守りの形で関わっていくようにしている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>相談や要望があればできる限りの協力支援を行う。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常時希望や意向を聞けるようにしている。ご本人が何を望まれているか分からない時は家族様にも話を聞いている。	普段接している事により、入居者の発する言葉が単語であっても、何を言おうとしているかがつかめるようになってきた。	入居者が何を望んでいるのか、言葉や表情などから思いを汲み取る努力を更に続けて行ってもらいたい。今後も、心に添った支援をお願いする。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	利用者との会話やご家族からの聞き取り等で得た情報を活かし対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の有する能力を把握し、職員間で情報を共有するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスを行い、利用者だけでなく家族の思いも反映できるよう取り組んでいる。	介護計画は、2～3ヵ月毎に見直し、作成している。家族の要望は電話や便りの中で聞くようにしており、職員の意見も入れている。医師には、往診時に確認をいただき、訪問歯科医の意見も取り入れている。	入居者主体の介護計画となるようよく話し合い、気づきや要望を反映した介護計画の作成を継続されたい。また、引き続き実践もされたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人経過記録を残し状況を把握している。日々の記録を元に情報の共有化を図り介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズについてはできる範囲で対応しているが問題点も多い。臨機応変に対応できるように努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	十分な協力関係が結べていない部分も多い。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診がある。歯科往診や希望者には訪問マッサージがある。希望者は今まで行かれていた病院にいかれている。	月2回の往診は全入居者が受診する。今までのかかりつけ医の受診は整形外科、泌尿科で家族が対応している。	往診の際は入居者の普段の様子を医師に伝え形式的な往診にならないよう特段の配慮をお願いする。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>24時間相談できる関係が築かれている。往診日とは違う日でも訪問して頂ける。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者が入院した際定期的に病院に訪問し利用者との関わりが切れないようにしている。病院関係者や家族様との情報を共有する事で退院時の受け入れがスムーズにいくように努めている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期の方針については職員でグループワークしている。家族様には個別に思いを確認している。職員の意識や技術、家族様の協力が得られるのであればターミナルケアを行って行きたいと思っている。</p>	<p>終末期の方針は家族と話し合い、書類にも残している。家族も具体的現実がないので決定するに至っていない。管理者、複数の職員は以前の職場で看取り介護の経験がある。ターミナルケアについては前向きに検討中である。</p>	<p>終末期の方針は入居時点で本人・家族に聞き記録も残している。緊急時も想定し記録に残す必要はある。その後また具体的な時期に入った時に再度話し合い変更することも起こりうることである。家族にとって終末についてそう簡単に決められないという思いは理解できる。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時の対応についてはマニュアルで確認できるようにしている。定期的な訓練は今後の課題である。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>併設のデイを含めた建物全体としての防災訓練を年2回行っている。</p>	<p>年2回消防署も来て訓練は行った。火事が出たときを想定し歩けない入居者をおぶって訓練をした。緊急通報装置、スプリンクラーは設置済み。</p>	<p>家族には広域避難場所東中浜公園を連絡している。災害時の備蓄品（オムツ・缶詰・水・レトルトおかゆ）はある程度備えている。更なる検証の下充分かどうか検討されたい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライバシーを尊重している。普段の言葉かけやトイレ誘導の声かけについて職員間で統一した声かけを行っている。	プライバシーの尊重について職員にははっきり研修・ミーティングで周知している。	永年生きてこられた人生を尊重し、入居者に恥ずかしい思いや、いやな思いを持たさないことである。知っている事が出来ているか、時にはミーティングでも話し合っ、皆さんの更なる研鑽を期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるような声かけを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせ無理強いないようにしている。利用者の希望に添えるよう家族様にも協力を仰いでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容がくる。化粧に関しては介護計画書にも記載し、声かけを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の状態を把握し、できる事は手伝って頂いている。毎月何かしらのイベントを企画しメニュー決めや買物を職員と共に行っている。	食事は配食会社から朝に届いたものを昼に・昼に届いたものを夕に、温めて入居者の好みの味に調理して盛り付けて出す。ご飯とお汁は各ユニットで作っている。朝食は職員が作る。	ホーム内で一緒に作り食べるという調理の日を月2回くらい設けている。春のお花見と秋のもみじ狩りにはお弁当を持っての遠出をしている。高齢者の最大の楽しみといっても良い「食べる楽しみの充実」をお願いしたい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるように、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	水分チェック表を確認している。食が細い方には適宜補食を提供している。個人毎に体重測定を週1、月1で行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。訪問歯科より助言あり。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表で一人一人の排泄パターンをチェックしている。	職員にパターンを把握して誘導するように指導している。殆どの入居者は見守りで排泄の自立が出来ている。薬に頼りすぎず食べ物を取ることも有効であり実行している。	排泄の自立は高齢者自身が一番望むところであり、自尊心の保持がのぞまれる場面である。引き続き排泄自立支援のため職員努力と研鑽をお願いする。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給の促しや、下剤をなるべく使用しないようおやつ等にも気をつけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	時間帯は決めずなるべく一日置きの入浴を促している。拒否や入浴できない際は足浴や清拭を行っている。	入浴時間は午後2時くらいであり、なるべく隔日の入浴を目指して支援している。夕食後の入浴希望者3人の方には希望に添って7時30分までの入浴に対応している。	入浴時の介護チェアについて介護度の高い方に応じた物を準備され、入居者が安心・安定した入浴時間となるように考えられたい。また声の掛け方などの工夫で、入浴が楽しみになるような支援の継続をお願いする。

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>消灯時間等は特に決めておらず。生活習慣や状況に応じ気持ち良く睡眠できるように支援している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>チェック表を利用し服薬ミスがないように複数の職員で確認しながら配薬している。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人一人の状態を把握し、それぞれに応じた役割をお願いし負担のないよう楽しく過ごして頂けるよう支援している。</p>		
49	18 <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>外出拒否の方もおられる為個人差はありますが、希望に添って外出の機会をつくるように努めます。</p>	<p>お正月には八剣神社に初詣に行った。外出時に買い物をする入居者もいる。春になるとお花見も考えている。</p>	<p>ホーム内だけでなく戸外に出ることで、足腰の訓練はもとより、季節の移ろいを感じ、五感の刺激にもなる。運営推進会議録によると行事には家族が手伝うことも出来るとの発言が有り、心強いことである。今後とも外出の支援をお願いする。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人でお金を管理されている方もおられる〔家族様了承の上〕。その他の方は事務所金庫にてお預かりしている。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時にいつでもかけられるよう支援している。携帯電話を使用している方には操作時介助している。</p>		
52	19 <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地のよい空間が作れるよ定期的に模様替えを利用者と共に行っている。</p>	<p>法人本部が市内にはじめて建てたグループホームであり、都会の真ん中であるのに広い庭もあるホームである。リビングは広く明るく作られている。壁には皆で作った飾りや、法人本部が作った関連事業所の利用者・入居者の俳句大会の作品の掲示があった。</p>	<p>リビングは大人のホームとして落ち着いた装飾と言うより、モールや色紙の装飾が多いように見受けられた。大人の住まいのリビングであるという立場の装飾も考えて見られてはと思考する。俳句作品には大変感銘を受ける句が多かった。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ユニット間の施錠をしていないので思い思いの場所で過ごして頂いている。</p>		
54	20 <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に使い慣れた家具を持ってきて頂けるようお願いしている。</p>	<p>家具の持込は入居者の意向に沿って設えられている。床に布団を敷いている入居者が多かった。ベッドは個人持込となっている。</p>	<p>入居者の寝具について、ベッドのほうが「起き上がりが楽に出来る」「床に直接寝ると埃を吸う率が高い」「職員の介護時の負担が軽い」など、ベッドのほうが機能的、衛生的に勝るものである。法人本部・家族にも相談、再検討をお願いする。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全を考え制限させて頂く事もある。ご本人のペースを大事にして過ごせるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない